松前町児童10名、四国・愛媛県松前（まさき）町を訪問

～北海道松前町・愛媛県松前町姉妹都市児童交流事業「訪問事業」～

松山城にて

1月11日㈯から13日㈪まで3日間、松前町の児童10名（大島小1名、小島小2名、松城小7名）が姉妹都市の愛媛県まさき町を訪問しました。

1日目

子どもたちは、函館空港を飛び立つ飛行機の離陸直後の揺れにとても驚いていました。

松山空港では、まさき町の児童9名が横断幕を持って出迎えてくれ、昨年7月に松前町で行われた受入れ事業以来の再会を喜んでいました。

愛媛県到着後は、日本三古湯の一つといわれる道後温泉の別館として平成29年にオープンした道後温泉飛鳥乃湯で入浴体験し、1日目の疲れをとりました。

2日目

午前中は松山城を見学し、伊予農業高校では高校生と一緒にまさき町特産のはだか麦を使ったピザやラーメン作り体験を行い、高校生が考えてくれたクイズで、はだか麦のことを学習しました。

午後からは砥部（とべ）焼の絵付け体験を行い、素焼きのマグカップにイラストや文字を描きました。

その後ホッケー場で表敬式とホッケー体験が行われ、まさき町の岡本町長、本馬教育長、そして児童代表から歓迎のあいさつをいただき、松前町を代表して熊谷爽くんがまさき町の皆さんに訪問のあいさつをしました。ホッケー体験では、練習を行った後、青い人工芝でホッケークラブの小中学生と試合を行いました。

3日目

夏目漱石の小説「坊ちゃん」の登場人物が利用したことから命名された「坊ちゃん列車」に乗車し、子どもたちは車窓から見える松山市内の景色を楽しんでいました。

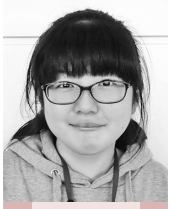
両町の児童は、夏と冬の交流を通してそれぞれの町を五感で感じることができました。交流事業をきっかけに、これからも松前町とまさき町の児童の友情は続いていくでしょう。

ホッケー体験

調理体験

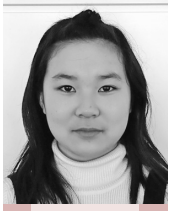
藤村琥太郎（大島小６年）

僕が一番楽しかったことは、ホッケーをしたことです。学校でスーパーホッケーをやったことがありましたが、ホッケーをしたことがなく、少し難しかったけど楽しかったです。



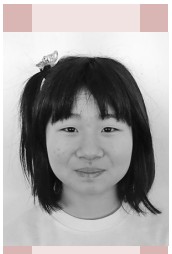
三浦　優花（小島小６年）

飛行機に乗るのが初めてで楽しかったです。持ち物検査で靴がひっかかってしまい、初のボディーチェックを受けました。



成田愛璃美（小島小６年）

初めての飛行機は怖かったけど楽しかったです。エミフルＭＡＳＡＫＩで友達や家族にお土産を買ったのがとても楽しかったです。

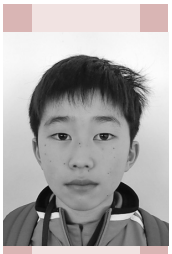


赤松　来美（松城小６年）

私は初めて飛行機に乗りました。飛行機に乗った時、窓を見たら海にたくさん島があってびっくりしました。そのほかに、エミフルＭＡＳＡＫＩや松山城、ホッケー体験、道後温泉に行ったことも楽しかったです。私はエミフルＭＡＳＡＫＩと道後温泉商店街でたくさんお土産を買ったことがとても楽しかったのでまた行きたいです。

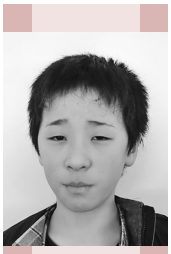
伊川　羅衣（松城小６年）

僕はまさき町のみんなとたくさんの思い出を作れたし、仲良くできました。松山空港で別れるときは少し悲しかったです。



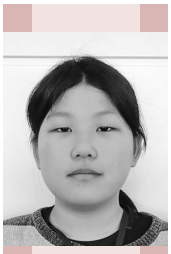
熊谷　爽（松城小６年）

僕は町の名前が一緒（漢字が一緒）なだけでこんなに仲良くできて別れるのがさみしいと思えるのはすごいことだと思います。お父さんやお母さんに思い出を話したいと思います。



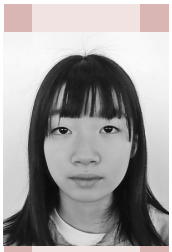
今　麗音（松城小６年）

僕は人とかかわるのが苦手だったけど、この経験をとおして、人と接するのが少しできるようになったと思います。今までやったことがないことも経験できたので良かったです。



澤田　侑奈（松城小６年）

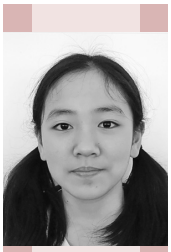
まさき町との交流で楽しかったことは、伊予農業高校でピザとラーメンを作ったことです。まさき町で採れたはだか麦を使い、作りました。一番楽しかったのはピザとラーメンを作る前に行った、はだか麦に関するクイズが楽しかったです。



永田　彩羽（松城小６年）

楽しかったことは、エミフルＭＡＳＡＫＩに行ったことです。グループのみんなと交流をして、更にまさき町のみんなと交流を深めることができました。

また、伊予農業高校生と調理実習をすることも楽しかったです。すごく良い体験ができて良かったです。



藤井　悠那（松城小６年）

一番の思い出は、飛行機です。離陸するときの重心が後ろに持っていかれる感じが面白かったです。また、キャビンアテンダントさんのお客さんに対する接し方に感動しました。二番目の思い出は、お土産を買いに商店街に行ったことです。知らないものがたくさんあって、同じ少年団のメンバーや家族にお土産を買うのが楽しかったです。

道後温泉飛鳥乃湯にて

砥部焼の絵付け体験